

JACET Kansai Newsletter

No. 93 July 15, 2022

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 植松 茂男 (大手前大学) (Chapter President: Shigeo UEMATSU, Otemae University)

事務局: 〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5 龍谷大学 社会学部 今野 勝幸 研究室内
(Chapter Office: c/o Katsuyuki Konno, Faculty of Sociology, Ryukoku University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

今年度の試み：関西支部大会の3月開催など

照井 雅子 (副支部長)

暑中お見舞い申し上げます。

今年は観測史上最も短い梅雨だったようで、6月末に早い夏が到来しました。猛暑が続く中、マスクを着用しての授業が続いています。教室の換気に気を配りながら冷房の管理をし、熱中症対策も欠かせません。不自由ではありますが、キャンパスで対面授業ができ、学生たちの笑顔を見ることができる日々をありがたく、嬉しく思います。

支部長の植松茂男先生の任期が2期4年目の最終年度を迎えています。1期目から副支部長としてご一緒させていただいてきた私も最終年度となりました。任期中にコロナ禍に見舞われ、植松先生を大会委員長として約1年半も周到な準備を重ねたJACET第59回国際大会(京都、2020)が中止となったことは本当に残念なことでした。ただ、その間にも植松先生が全員にお優しい心配りをしながらリーダーシップを発揮される場面に度々同席させていただいたことは大きな学びの機会となりました。

副支部長兼紀要編集委員長として、1期目は高橋幸先生と、2期目は里井久輝先生とご一緒させていただきました。今年度は中田賀之先生とご一緒させていただいています。加えて、関西支部には、幹事として総務・財務・広報・紀要を担当する先生がそれぞれ正・副お1人ずつ、その他に研究企画委員の先生方が20名、紀要編集委員が4名、関西支部選出の本部運営委員が10名(幹事との兼務含)、社員(幹事との兼務含)が18名いらっしゃり、これらすべての先生方で役員会を構成しています。素晴らしい先生方とご一緒させていただけた(いただけている)ことに感謝の気持ちでいっぱいです。紙幅の都合で、全員のお名前をあげることが叶いませんが

(関西支部HPの役員名簿をご覧ください)、支部行事を主に執行している幹事・研究企画委員の先生をまとめるお立場でいらした先生方と現在そのお立場にいらっしゃる先生方をご紹介します。

幹事の先生方の中で、会員数600名弱の関西支部の事務局(総務・正)という大役を担ってくださったのは、香林綾子先生、今野勝幸先生、仁科恭徳先

生です。今野先生は今年度もお務めくださっています。研究企画委員長の松田紀子先生、内山八郎先生、吉田諭史先生は、複数名の副委員長の先生方と一緒に牽引役を果たされ、研究企画委員会の先生方と力を合わせて献身的なお仕事をしてくださいました。そのおかげで、どの支部大会も記録と記憶に残る素晴らしいものとなりました。今年度は山下美朋先生を中心に着々と準備を進めてくださっています。

コロナ禍で、年に3度の支部講演会と年に1度の支部大会が対面で開催できなくなり、オンライン開催に切り替えましたが、場所を選ばず参加できることから、他支部の会員や非会員も含め、参加者増の嬉しい結果となりました。講演会等の録画を期間限定で公開することで、当日出席できなかった方がご覧になったり、内容の再確認・再聴したりできるオンラインのメリットも実感できました。

もっとも、どのような開催形式を選ぼうとも、支部講演会を順に担当くださっている各支部研究会の先生方や、支部大会を担ってくださっている幹事・研究企画委員会の先生方の企画と運営のご努力がなければ、成功には至りません。JACET関西の先生方はお力のある方ばかりで、私のような力不足の者でも、そうした先生方とご一緒させていただくことで大きな学びを得られました。昨今は何なたも年々校務が忙しくなり、学会役員のお仕事をお願いしにくくなってきていますが、勤務校のつながりを超えた出会いや学びの歓びがあり、多くの方にぜひご経験いただけたらと思います。退任の挨拶のようになってしまうかもしれませんが、年度終わりまで精一杯務めさせていただきますので、どうぞ引き続きよろしく願いいたします。

これからの関西支部のお話をさせていただきます。

今年度は支部大会が年度末の3月4日(土)に開催されます。過去2回のオンラインでの支部大会の成功体験を活かし、今年度もオンライン開催です。発表申し込みが例年より遅く、10月1日(日)~12月15日(木)となります。ご研究やご実践を今年度中にご発表いただける機会としてご活用いただけた

らと願います。詳細は本 Newsletter 内の支部大会情報をご参照ください。

今年度末に刊行予定の JACET 関西支部紀要第 25 号は 50 周年記念号となり、特集も企画されています。9 月 30 日を締切として投稿受付が始まっています。ご投稿をお待ちしております。

10 月と 11 月の支部講演会、11 月の支部総会、3 月の支部大会に向けて、活発な学会活動を継続してまいります。皆様の積極的なご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(近畿大学)

■ 支部研究会のご案内 ■

関西支部では 10 の研究会が活発に活動しています。以下に、本年度の各研究会名、代表・副代表者名、代表・副代表者連絡先を紹介しします。各研究会では原則として、常時、新入会員の申込みを受け付けておりますので、興味・関心のある研究会がありましたら、お気軽に各研究会の代表者までご連絡ください。また、最新の活動情報は、支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にてご確認ください。

The Kansai Chapter has the following 10 Special Interest Groups (SIGs) that meet regularly. According to our policy, they are run as two-year projects, being renewed every two years with new leaders. Please refer to the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/group.html>) for more information, or contact the leader of the SIG in which you are interested.

◆文学教育研究会 (Literature in Language Education)

代表：五十川 敬子 (同志社大学)
czk11355[AT]nifty.com
副代表：時岡 ゆかり (大阪産業大学)
ytokioka[AT]int.osaka-sandai.ac.jp

◆学習英文法研究会 (Pedagogical English Grammar)

代表：前川 貴史 (龍谷大学)
maekawa[AT]soc.ryukoku.ac.jp
副代表：西脇 幸太 (愛知文教大学)
hot_corner_55[AT]hotmail.com

◆ESP(関西)研究会 (ESP Kansai Chapter)

代表：藤枝 美穂 (大阪医科薬科大学)
miho.fujieda[AT]ompu.ac.jp
副代表：スミス 朋子 (大阪医科薬科大学)
tomoko.smith[AT]ompu.ac.jp

◆「海外の外国語教育」研究会 (Foreign Language Education Abroad)

代表：二五 義博 (山口学芸大学)
ynigo[AT]y-gakugei.ac.jp
副代表：大場 智美 (多摩大学)

ohba-t[AT]tama.ac.jp

◆教材開発研究会 (Teaching Materials Development)

代表：松村 優子 (近畿大学)
yuko-ma[AT]kcc.zaq.ne.jp
副代表：香林 綾子 (平安女学院大学)
contepastel[AT]hotmail.com

◆リスニング研究会 (Listening)

代表：高橋 寿夫
takahasi[AT]cwo2.bai.ne.jp
副代表：神野 雅代 (四天王寺大学)
kanno[AT]shitennoji.ac.jp

◆リーディング研究会 (Reading)

代表：星原 光江 (京都ノートルダム女子大学)
mits.stafes[AT]gmail.com
副代表：西 美都子 (追手門学院大学)
mitsuko.nishi[AT]gmail.com

◆ライティング指導研究会 (Writing Research Kansai Chapter)

代表：大年 順子 (岡山大学)
otoshi-j[AT]okayama-u.ac.jp
副代表：嶋林 昭治 (龍谷大学)
shima777[AT]biz.ryukoku.ac.jp

◆授業学(関西)研究会 (Developmental Education Kansai Chapter)

代表：飯田 毅 (同志社女子大学)
tiida[AT]dwc.doshisha.ac.jp
副代表：村上 裕美 (関西外国語大学短期大学部)
hiromim[AT]kansaigaidai.ac.jp

◆科学英語教育研究会 (English for Japanese Scientists)

代表：村尾 純子 (大阪工業大学)
giovanni[AT]bcc.bai.ne.jp
副代表：浅野 元子 (大阪医科薬科大学)
motoko.asano[AT]ompu.ac.jp
副代表：湯浅 麻里子 (関西大学)
maritama0617[AT]gmail.com

■ 2022 年度第 1 回支部講演会の報告 ■

JACET 関西支部 2022 年度第 1 回支部講演会が 2022 年 6 月 18 日 (土) にオンラインで開催され、124 名の参加がありました。立教大学の山田優先生に機械翻訳の教育現場への応用について多角的な視点からお話し頂き、大変盛況な講演会となりました。

日時：2022 年 6 月 18 日 (土) 15:30~17:00
会場：オンライン (Zoom) 参加者約 124 名
講師：山田 優 先生 (立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 教授)

演 題： 機械翻訳を英語教育に活用するために～
TILT から MTILT へ～

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2022 academic year was held online on Saturday, June 18th online. The lecturer, Professor Masaru Yamada, gave a talk on how English teachers can bring machine translation into their classrooms.

Date: June 18 (Sat), 2022, 15:30-17:00

Venue: Online (Zoom)

Title: “MTILT: Machine Translation in Language Teaching”

■ 2022 年度第 2 回支部講演会のお知らせ ■

2022 年度第 2 回支部講演会は、2022 年 10 月 15 日（土）に「科学英語教育研究会」による講演を予定しています。支部の研究会の活動を知る良い機会です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、後日支部ホームページをご覧ください。

Kansai Chapter Second Lecture Meeting of AY 2022

The Kansai Chapter Second Lecture Meeting of the 2022 academic year by the English for Japanese Scientists SIG will be held on Saturday, October 15. We will inform you later about the details via our website.

■2022 年度第 3 回支部講演会のお知らせ■

2022 年度第 3 回支部講演会は、2022 年 11 月 19 日（土）に「学習英文法研究会」による講演を予定しています。支部の研究会の活動を知る良い機会です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org>) にて、後日ご案内申し上げます。

Kansai Chapter Second Lecture Meeting of AY 2022

The Kansai Chapter Second Lecture Meeting of the 2022 academic year by the Pedagogical English Grammar SIG will be held on Saturday, November 19. We will inform you later about the details via our website.

■ JACET 第 61 回国際大会のお知らせ ■

日程：2022 年 8 月 24 日（水）・25 日（木）・26 日（金）

会場：オンラインでの開催

テーマ：デジタルトランスフォーメーションのグローバルな進展における言語文化教育の再設計

主 旨：

感染症の拡大を契機として、大学ではオンライン授業が特別なものではなくなり、授業形態の選択肢の一つとなった。その中で、対面型教育の教材や教授法、評価方法の限界や問題点も見えてきた。教育における情報通信技術の浸透は人々の意識を変え、同時にこれまでの教育方法や学習環境を再編し、変革する動きを見せている。その一方で、物理的な移動が制限されるにいたって、国際化や国際交流のあり方についても一度振り返るべき時期にある。国際学会や留学など、当たり前であった人的交流までもオンライン化される状況において、画面越しの国際交流や国際理解を深めていくことは可能なのか。このような問いに向き合うべき時代に我々は置かれている。そこで JACET は、創立 60 周年記念国際大会を機に、「言語を通じた社会問題の解決」という幅広い視野で問題解決に取り組む応用言語学の理念に立ち返り、英語を含む様々な言語の教育や文化の理解に努める姿勢を打ち出した。

九州・沖縄支部が担当し、オンラインで開催される大学英語教育学会（JACET）第 61 回国際大会（2022、オンライン）では、このような状況を踏まえ、我々が取り組むべき課題として、言語文化教育の「目標・環境・技術」の三つの観点に着目し、これらの再編・改革について議論を深めたい。「目標・環境・技術」の三点はそれぞれ独立した問題ではなく、相互に深く関係し合っている。どれか一つを改めれば良いというものではなく、一体として、それぞれの専門家が知恵を出し合っていかなければならない。たとえば、海外留学に行くことができなくなった場合の国際化教育を取り上げると、教育の目標はどうあるべきか、どのような環境を整備するべきか、より良い教育を実現するためにどのような技術が活用できるのか、といった問題がある。これらの問題に個別に取り組むのではなく、それぞれの制約と可能性を考慮した上で、最善の解決策を見出していく姿勢が求められている。我々が現在模索している新しい方法論や価値観の形成ならびに人工知能に代表される高度情報通信技術の導入をめぐる議論は言語文化教育に携わる者が避けて通れないがゆえ、世界中の教育・研究者の積極的な参加を期待したい。

問い合わせ：大学英語教育学会国際大会組織委員会
TEL: 03-3268-9686

e-mail: convention@jacet.org

The JACET 61st International Convention

Dates: August 24th (Wed.) - August 26th (Fri.), 2022

Venue: Online

Theme: Redesigning of Language and Culture Education in the Global Process of Digital Transformation

Abstract:

Triggered by the spread of infectious disease, online university classes are now an option in classroom delivery and no longer a special undertaking. With this development,

however, the limitations and problems of face-to-face educational materials, and teaching and evaluation methods, have become clear. Indeed, the penetration of information and communication technology into the field of education has caused not only a change in people's consciousness but started a movement to restructure existing teaching methods and learning environments. With physical movement restricted, we are also being called upon to examine approaches to internationalization and international exchange. In a world where the ordinary human interactions that occurred at international conferences and while studying abroad have gone online, how is it possible for international exchange and understanding to deepen through computer screens? The world has brought before us such a question to consider. It was in this context that JACET used its 60th Anniversary International Convention to return to the basic principle of applied linguistics, namely cultivating a broad view toward "solving social problems through language," and to confirm its intent to promote both cultural understanding, and the understanding of language education, including that of English and other languages.

With this background, at the 61st International Convention of the Japan Association of College English Teachers (JACET) to be handled by the Kyushu-Okinawa Chapter, and to be held online in 2022, we would like to continue to tackle the issue of language and culture education by deepening discussions on reorganizations and reforms through a focus on three perspectives - goals, environment, and technology. We do not see these as independent domains, but as fields of concern deeply related to each other. It is not a matter of solving the problem in just one area. The three are a whole and experts in each area must share their wisdom together. For example, consider education for internationalization in a world where study abroad is not possible. What then should the goals of such education be? What kind of environments should be prepared? To achieve better educational results, what sorts of technology ought to be used? Instead of tackling these problems individually, we are expected to consider all constraints and possibilities, and work to find the best solution. In addition, we also recognize that as we look to form new methodologies and value sets, those of us involved in language and culture education cannot avoid discussions about the introduction of advanced information and communication technologies, especially those represented by artificial intelligence. We very much look forward to the active participation in these discussions from many educators and researchers from across the globe.

Inquiries: The JACET International Convention
Organizing Committee
TEL: 03-3268-9686
e-mail: convention@jacet.org

■ 2022 年度関西支部大会のお知らせ ■

2022 年度の関西支部大会を以下の要領で開催します。
日程：2023 年 3 月 4 日（土）

開催方法：オンライン開催
大会テーマ：台頭するテクノロジーと変わりゆく
価値観を見据えた英語教育

基調講演：吉田研作先生（上智大学）
特別講演：成田一先生（大阪大学）
招待ワークショップ：未定

ご講演の詳細は、次号のニューズレターならびに支部 HP (<http://www.jacet-kansai.org/>)にてご案内致します。

研究発表申込：10 月 1 日（日）～12 月 15 日（木）

申し込み詳細に関しては、9 月以降に支部 HP でご案内致します。ご予定ください。

The Kansai Chapter 2022 Conference

The Kansai Chapter 2022 Conference will be held as follows.

Date: March 4, 2023

Venue: Online

Conference Theme: English Education with Rising Technology and Changing Values

The details of the conference will be informed in the next newsletter and Kansai Chapter website

(<http://www.jacet-kansai.org/>)

Keynote Lecture: Dr. Kensaku Yoshida (Sophia University)

Special Lecture: Dr. Hajime Narita (Osaka University)

Invited Workshop: TBD

Call for papers: Sunday, October 1 – Thursday, December 15, 2022

JACET members are invited to submit applications for research papers and practical reports. Details of application will be informed on Kansai Chapter website from September, 2022.

■ 紀要編集委員会より ■

『JACET 関西紀要』記念号第 24 号を令和 4 年 3 月末に会員の皆様にお届け致しました。招待論文 6 本と、研究論文 2 本、実践報告 1 本を掲載しております。ご協力いただきました査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同改めまして心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

令和 4 年 7 月 1 日より、第 25 号の投稿受付を開始いたします（投稿締切：9 月 30 日）。25 号からは「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」（以上査読有）「SIG 報告」（査読無）の 5 つの種別

への投稿が予定されています。「研究論文」「実践研究論文」は20ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は15ページ以内、「SIG報告」は6ページ以内となります。詳細はJACET関西ウェブサイトをご覧ください。今回はJACET関西50周年記念号にあたり、招待論文として、大谷泰照先生、田地野彰先生、Ema Ushioda先生より玉稿を賜ることになりました。JACET関西の50周年の節目となる記念号へのJACET関西支部会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) に投稿用のテンプレート (WORD) をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限：2022年9月30日(金)午後11時59分

論文送付先：紀要編集委員会 事務局長

竹田里香(立命館大学)

[jacetkj \[AT\] gmail.com](mailto:jacetkj[at]gmail.com)

提出方法：ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル (WORD と PDF)。

(原稿郵送は不要です。)

※ 受領後3日以内に事務局より確認の返信が届きます。万一、3日経っても返信が届かない場合は、竹田里香まで再度ご連絡ください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ <http://www.jacet-kansai.org/submission.html> をご覧ください。

重要な日程：

2022年9月30日(必着)	投稿原稿締切
12月1日	審査結果通知
2023年1月7日(必着)	最終修正原稿締切
3月31日	刊行

The JACET Kansai Journal (JKJ) Editorial Committee announced the publication of JKJ No.24, which was sent to members at the end of March, 2022. The journal contains six invited articles, two research papers, and one application report. The Editorial Committee would like to express its sincere gratitude to the reviewers who devoted much time and effort to the editorial process.

We welcome your submissions for the next issue, *JKJ* No. 25 (50th-anniversary issue of JACET Kansai), which requires online registrations starting on July 1st. Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Journal website, and submit your application.

2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:
Rika Takeda (Ritsumeikan University)
JACET Kansai Journal Secretariat
[jacetkj \[AT\] gmail.com](mailto:jacetkj[at]gmail.com)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Rika Takeda, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:
September 30, 2022 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:
December 1, 2022
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:
January 7, 2023 (via email as an attached file)
- Publication: March 31, 2023

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■ 本部事務局より ■ Messages from the JACET Office

JACET本部事務局より、JACET NEWS (JACET本部ML)への掲載依頼について原稿作成上の注意が届きましたので、下記をご覧ください。

———JACET NEWS 原稿作成上の注意———

※テキストファイル (.txt) にて作成してください。
※日本語の場合は1行全角 39字以内、英語の場合は1行半角 78字以内にし、20行以内におまとめください。

※英語話者の公募の場合は英語で記述してください。
※英文中では、全角文字を使わず、半角文字をお使いください。

※丸数字(例：①)やローマ数字(例：IV)などの特殊文字は使用しないでください。

件名もお送りください。

※メーリングリストによる配信の日時指定はできません。

※MLに流すことができるのは、公募とJACET行事に関連する情報とします。

■ 事務局より ■ Messages from the Kansai Chapter Office

例年よりもかなり早い梅雨明けと共に猛暑到来、暑い教室では、コロナ感染に加えて熱中症の心配も出てきました。体調管理には十分ご注意ください。

さて、本年度のJACET国際大会は、8月24日(水)

～26日(金)まで、オンラインで開催予定です。テーマは『デジタルトランスフォーメーションのグローバルな進展における言語文化教育の再設計 (Redesigning of Language and Culture Education in the Global Process of Digital Transformation)』です。奮ってご参加ください。

■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配送やメール・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ず本部事務局（jacet@zb3.sonet.ne.jp）までご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。特に、支部からの案内メールが宛先不明で数多く戻ってまいります。ご登録のメールアドレスをご確認ください。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers, and other information to the JACET Main Office (jacet@zb3.sonet.ne.jp).